



国際シンポジウム「ME-BYO サミット神奈川 2022」 を開催し、大会メッセージ「神奈川から世界へ 地域 とともに実現する Vibrant INOCHI～ME-BYO がつ なく未来の自分～」を発表

国際シンポジウム「ME-BYO サミット神奈川 2022」を開催し、未病コンセプトや未病改善の重要性を普及・啓発するとともに、これまでの成果や今後の展開等を議論しました。

そして、2日間の議論の成果として、メッセージ「神奈川から世界へ 地域とともに実現する Vibrant INOCHI～ME-BYO がつなく未来の自分～」を発表しましたので、お知らせします。

1 開催日時・配信会場

令和4年 11 月 8 日(火曜日) 13 時 00 分～17 時 30 分

9 日(水曜日) 10 時 00 分～16 時 45 分

招待者・関係者・報道 湯本富士屋ホテル(箱根町湯本 256-1)

一般の方 特設サイトよりオンライン参加

2 主催

ME-BYO サミット神奈川実行委員会

3 後援

内閣府、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、公益社団法人日本医師会、公益社団法人神奈川県医師会、公益社団法人神奈川県歯科医師会、神奈川新聞社、健康経営会議実行委員会、健康長寿産業連合会、tvk、一般財団法人バイオインダストリー協会、読売新聞横浜支局

4 大会テーマ

Vibrant INOCHI の地域社会への展開

～地域・企業で進む未病の見える化と行動変容の最前線～

5 大会メッセージ

神奈川から世界へ 地域とともに実現する Vibrant INOCHI

～ME-BYO がつなく未来の自分～

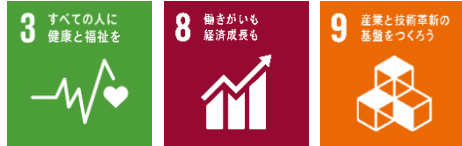
(注)詳細は別紙を参照

6 参加者

海外・国内招聘ゲストスピーカー、行政機関、協賛企業、アカデミア(大学・研究機関など)、一般参加者(二日間合計:1,257 人)

《SDGsの推進について》

県では、SDGsの達成につながる取組として、持続可能な健康長寿社会の実現に向けた産学公連携の取組を推進し、県民の未病改善を促進するME-BYOサミット神奈川に取り組んでいます。



問合せ先

神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室

未病産業担当課長 采女 電話 045-285-0156

未病産業グループ 浅井 電話 045-210-2715



ME-BYO サミット神奈川 2022 大会メッセージ

神奈川から世界へ 地域とともに実現する Vibrant INOCHI
～ME-BYO がつなく未来の自分～

我が国の高齢化率は世界で最も高い水準にある。神奈川はこれを乗り越えるため、これまで、未病コンセプトの発信や未病指標の構築など、自分ごと化や行動変容につながる新たな領域に果敢にチャレンジしてきた。

こうした姿勢をコロナ禍でも引き継ぎ、新たなテクノロジーもいち早く取り入れ、関係機関とともに実践する先進的な「神奈川モデル」の実現につながった。

2020年には世界保健機関が「健康な高齢化の10年（2021～2030年）」を提唱するなど、国際社会で高齢化が本格的に課題と認識される中で、神奈川が取り組むべきは、未病改善に関する実践的な取組のロールモデルを確立し、発信しつづけることである。

今回の議論では、地域の健康課題を再確認するとともに、女性や働く世代及び高齢者などの多様な主体に着目し、データやテクノロジーを活用した、未病改善の方策について様々な示唆が得られた。さらに、ウェルビーイングなどの未来社会に向けた価値の共創についても議論を行った。

また、コロナ禍においては多くの方が自分の健康に気を配るようになった。こうした意識の変化は未病改善の行動を日常的に実践する重要な契機となり、市町村とも連携しながら、当事者目線に立った取組を進める必要性も確認された。

圧倒的な勢いで進む超高齢社会においては、病気を治すことに加えて、一人ひとりが自分の未病の状態を自分ごととして捉え、その人にあった未病改善行動を行い、個人のウェルビーイングを通じて、持続可能な社会の実現を目指す必要がある。

そのために、未病の見える化をはじめとした、個人を支えるテクノロジーの社会実装や科学的エビデンスの確立、課題解決・未来志向型の人材育成を、産学公民で連携・協働しながら取り組んできた。我々はこれからもこうした取組をより発展させ、分野や主体の枠を越えて一体的に展開していく。

そして、一人ひとりが安心して自分の幸福や生きがい、未来を想い、自分らしく輝ける「Vibrant INOCHI」の実現に向けて、ともに未来社会を創っていく。